

SYOHEI ニュース 令和5年10月号

総合水沢病院で全身 MRI (DWBS ドゥイブス)

がん検診を開始！7月24日開始から3か月

総合水沢病院 健康管理課

全身 MRI (DWBS) がん検診とは、MRI 装置を使って全身のがんを検索する最新の画像検診で、拡散強調画像という撮像方法を主としています。

がんは、細胞内密度が高く、細胞間の水分子の動きが悪いのですが、拡散強調画像はこの部分が目立つように画像化します。すべてのがんが見つかるわけではありませんが、X線被ばくがない、お薬を使わないなど、身体への負担が少なく受けやすい画像検診です。

1 検査は約 20 分で、仰向けに寝ているだけで全身が撮像できます。



導入の経緯と実施状況

当院では数年前より更新時期を迎えるMRIの導入機種について検討を行い、今年4月、東北で主に導入されているPET-CTより検査費用が安価で受診負担が少ない全身MRIに対応できる新機種に更新し、保険診療に活用しています。

また、市民病院としての市民の健康を支えるというミッションを果たすべく、7月24日から県内初となる全身がん検診(保険外診療)を開始しました。テレビや新聞等の報道もあり、現在の実施状況は、月40件前後となっています。

PET-CT 検診との比較

DWBS 検診と同じような全身のがんを検索する画像検診としてPET-CT 検診がありますが、DWBS 検診は、被ばくがない、検査薬の注射が必要ない、

検査時間が短い、安価などが優位点。

	DWBS検診	PET-CT検診
被ばく	なし	注射薬と放射線の2重被ばく
注射	なし	検査薬を静脈注射
食事制限	なし	インスリン制限など
検査時間	約20分	注射を含め約3時間
検査後処置	なし	放射能が下がるまで待機
糖尿病患者	検査可	検査ができない場合がある

こんなに方におすすめ

○がんが心配な方、○腎機能が悪く、お薬を使った検査が難しい方、○早期肺がんの検出はCTの方が有利ですので、低線量肺がんCT検診をあわせて受けられることをお勧めします。

使用する装置

- フィリップス社製 1.5T MR 装置 MR5300
拡散強調画像、T2 強調画像、T1 強調画像を撮像
- PixSpace 社製 医用画像解析プログラム Attractive

検診結果と費用

検診結果は、画像診断を専門とする放射線科医が読影し、それを当院医師が確認後 1 ヶ月以内に郵送します。費用は、税込 40,000 円です。

新任医師紹介

10月1日付けで総合水沢病院に吉村真弓医師が着任いたしました。麻酔科医として勤務されます。



新任医師紹介

10月1日付けで総合水沢病院に菊池祐医師が着任いたしました。内科医として勤務されます。



大谷選手 MLB ア・リーグの本塁打王獲得！

米大リーグは、全日程が終了し、大谷選手が44本で日本人史上初の本塁打王を獲得しました。

怪我でラスト25試合欠場しながらも2位に5本差をつけての獲得でした。



10.2 奥州市役所に張られた横断幕：岩手日日記事より

大谷翔平選手の今シーズンの成績ボード

打者 打率 304 本塁打 44 打点 95 盗塁 20
投手 勝利 10 敗戦 5 防御率 3.14 奪三振 167

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和5年10月26日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833

※ 奥州市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。

アテルイ・モシ碑

水沢羽田町 広報おうしゅう H21.9 VOL.43 : 京都清水寺

アテルイ・モシ慰霊碑 水沢羽田町字御山下

東北新幹線水沢江刺駅の東、水沢と江刺の境に位置する羽黒山。山頂にある出羽神社境内を西方に進むと、今回紹介する「アテルイ・モシ慰霊碑」があります。

アテルイとモシ(モライ)はこの地の指導者として、宝亀7年(778年)以来4度にもわたる朝廷軍の攻撃に対し、郷土を守るため敢然と立ち上がった英雄です。絶好の眺望場所でもある羽黒山は、数千の地元民が5万超の軍勢で攻め入る官軍を撃退した「巢伏の戦い」で、重要な役割を担った砦といわれています。慰霊碑の下には、2人が処刑された大阪府枚方市から分霊されたアテルイとモシが、わたしたちを見守るかのよう静かに眠っています。



① 慰霊碑の前に立つ及川洵さん(81) = 水沢区羽田町字沼尻。ことし2月には小説「阿弋流為」を出版したことで知られる
② 羽黒山の頂上にある出羽神社。アテルイに引導を渡した、坂上田村麻呂が建立
③ 地元・羽田地区振興会が整備する、神社から慰霊碑に向かう道。チツが敷き詰められ歩きやすい

碑が除幕されたのは、新暦で忌日に当たる平成16年(2004年)9月17日。地元での慰霊と永く語り継いでいくための顕彰の場とすべく、建立実行委員会が建立しました。

建立の中心となったのは、アテルイを顕彰する会・会長の及川洵さん。20代の頃から研究を始めたという、アテルイ研究の第一人者でもあります。及川さんに2人の英雄の魅力を伺うと「自主独立の気概と郷土愛、そして友情です」と迷わない返事が返ってきました。

アテルイを「古代東北の英雄」として顕彰の機運が高まったのは、1980年代後半と比較的最近のことです。2人の英雄の命日を期に、郷土を愛した先人について、深く学んでみるのも良いのではないのでしょうか。

◇問合せ先＝羽田公民館(電話 0197-24-7445)

阿弋流為・母禮碑 京都清水寺

清水寺境内図

蝦夷(えみし)の首長阿弋流為(アテルイ)と母禮(モシ)の名が刻まれた石碑。平安遷都1200年を記念して1994年京都清水寺境内に建立されました。発願は「関西アテルイ・モシの会」、関西岩手県人会を中心とした人たち、アテルイとモシの非業の死から1,200年経った年に、清水寺貫主の了解を得て建立したものです。



全国平定を目指す朝廷は東国を支配する蝦夷に対し幾度となく軍を送ります。最初は蝦夷側が優勢でしたが、坂上田村麻呂を将軍として朝廷軍を送った時、形勢は逆転し、蝦夷の首長アテルイとモシは住民の安寧のため登降します。京都に連れて行かれたアテルイとモシは、坂上田村麻呂による助命嘆願にもかかわらず処刑されてしまいます。この石碑は、郷土を救った勇者を称えるために、岩手県の有志の皆さんによって建立されました。

「北天の雄 阿弋流為 母禮之碑」

